

# なに て つだ 何かお手伝いできますか？

にゅう じょう せい り けん  
入場整理券が  
ありません

にゅう じょう せい り けん し めい  
入場整理券の氏名が  
まちが  
間違っています



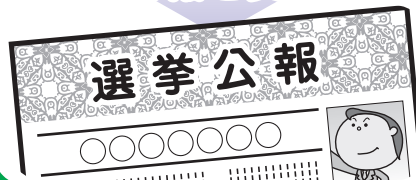
し めい じゅうしょ せいねん がっぴ  
氏名、住所、生年月日を  
おし  
教えてください



こう ほ しゃ  
候補者が  
わかりません



せん きょ こう ほう か  
選挙公報を貸します



じ ちい  
字が小さくて  
よ  
読めません



か  
メガネを貸します



じ か  
字が書けません



ほ じょ しゃ だい ひつ  
補助者が代筆します



か ま ちが  
書き間違えました

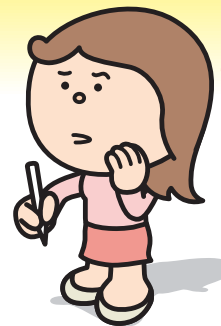


に じゅう せん てい せい  
二重線で訂正して  
ください

選 選  
夫 男



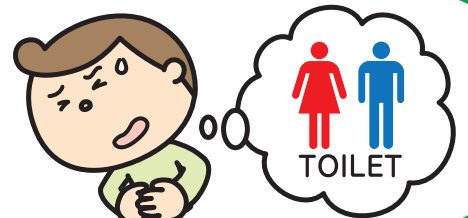
か かた  
書き方が  
わかりません



こう ほ しゃ めい か  
候補者名を書いて  
ください



トイレはどこに  
ありますか？



# コミュニケーションボードを使用するにあたって<sup>しょう</sup>

## 1 コミュニケーションボードの目的<sup>もくてき</sup>

これは、投票<sup>とうひょう</sup>に来られた方<sup>こ</sup>からの質問<sup>かた</sup>や依頼<sup>しつもん</sup>をイラストでまとめたものです。発声<sup>はっせい</sup>が困難<sup>こんなん</sup>であっても、指差し<sup>ゆびさ</sup>でコミュニケーションをとることができます。

## 2 掲示場所<sup>けいじばしよ</sup>

利用<sup>りよう</sup>したいと思われる人<sup>おも</sup>がすぐ気付<sup>ひと</sup>くよう、受付<sup>うけつけ</sup>の机上<sup>きじょう</sup>や受付<sup>うけつけ</sup>近くの壁<sup>かべ</sup>に掲示<sup>けいじ</sup>してください。

## 3 使い方<sup>つかかた</sup>

コミュニケーションボードの利用<sup>りよう</sup>を求め<sup>もと</sup>そうな方<sup>かた</sup>が来<sup>こ</sup>られたら、次のよう<sup>つぎ</sup>に行動<sup>こうどう</sup>してください。

- (1) 筆談<sup>ひつたん</sup>用の紙<sup>かみ</sup>とペン<sup>ようい</sup>を用意<sup>しせん</sup>してから、視線<sup>あ</sup>を合わせつつ、ゆっくり話<sup>はな</sup>しかけてください。
- (2) 分からないようだったら、該当<sup>がいとう</sup>しそうな欄<sup>らん</sup>を示<sup>しめ</sup>して「これですか?」と聞<sup>き</sup>いてください（聞こえなくても、口<sup>くち</sup>の動き<sup>うご</sup>が参考<sup>さんこう</sup>になりますので、声<sup>こえ</sup>に出<sup>だ</sup>してください。）。
- (3) 利用者<sup>りようしゃ</sup>が指差し<sup>ゆびさ</sup>をしたら、質問<sup>しつもん</sup>や依頼<sup>いらい</sup>を復唱<sup>ふくしょう</sup>して確認<sup>かくにん</sup>してください。発音<sup>はつおん</sup>が不明瞭<sup>ふめいりょう</sup>な方<sup>かた</sup>から質問<sup>しつもん</sup>された時<sup>とき</sup>も同様に、ボードの該当<sup>がいとう</sup>欄<sup>らん</sup>を示<sup>しめ</sup>し、視線<sup>しせん</sup>を合わせつつ、ゆっくり確認<sup>かくにん</sup>してください。
- (4) 手のひら<sup>て</sup>を胸<sup>むね</sup>に当<sup>あ</sup>て、下<sup>した</sup>におろす仕草<sup>しぐさ</sup>は「分<sup>わ</sup>かった」という意味<sup>いみ</sup>の手話<sup>しゅわ</sup>です。うなずくだけの人<sup>ひと</sup>もいます。

## 4 筆談をするときの注意<sup>ひつたんちゅうい</sup>点<sup>てん</sup>

- (1) 文章<sup>ぶんしょう</sup>は、短文<sup>たんぶん</sup>の「ですます調<sup>ちょう</sup>」で書<sup>か</sup>いてください。
- (2) 書き終<sup>か</sup>わったら、書<sup>か</sup>いた内容<sup>ないよう</sup>を身振<sup>みぶ</sup>りを交<sup>まじ</sup>えながら声<sup>こえ</sup>に出<sup>だ</sup>して読<sup>よ</sup>んで伝<sup>つた</sup>えてください。

## 5 その他<sup>た</sup>

日本語<sup>にほんご</sup>と手話<sup>しゅわ</sup>の違<sup>ちが</sup>いから、誤解<sup>ごかい</sup>してしまうことがあります。その後<sup>ご</sup>も様子<sup>ようす</sup>を見守<sup>みまも</sup>ってください。